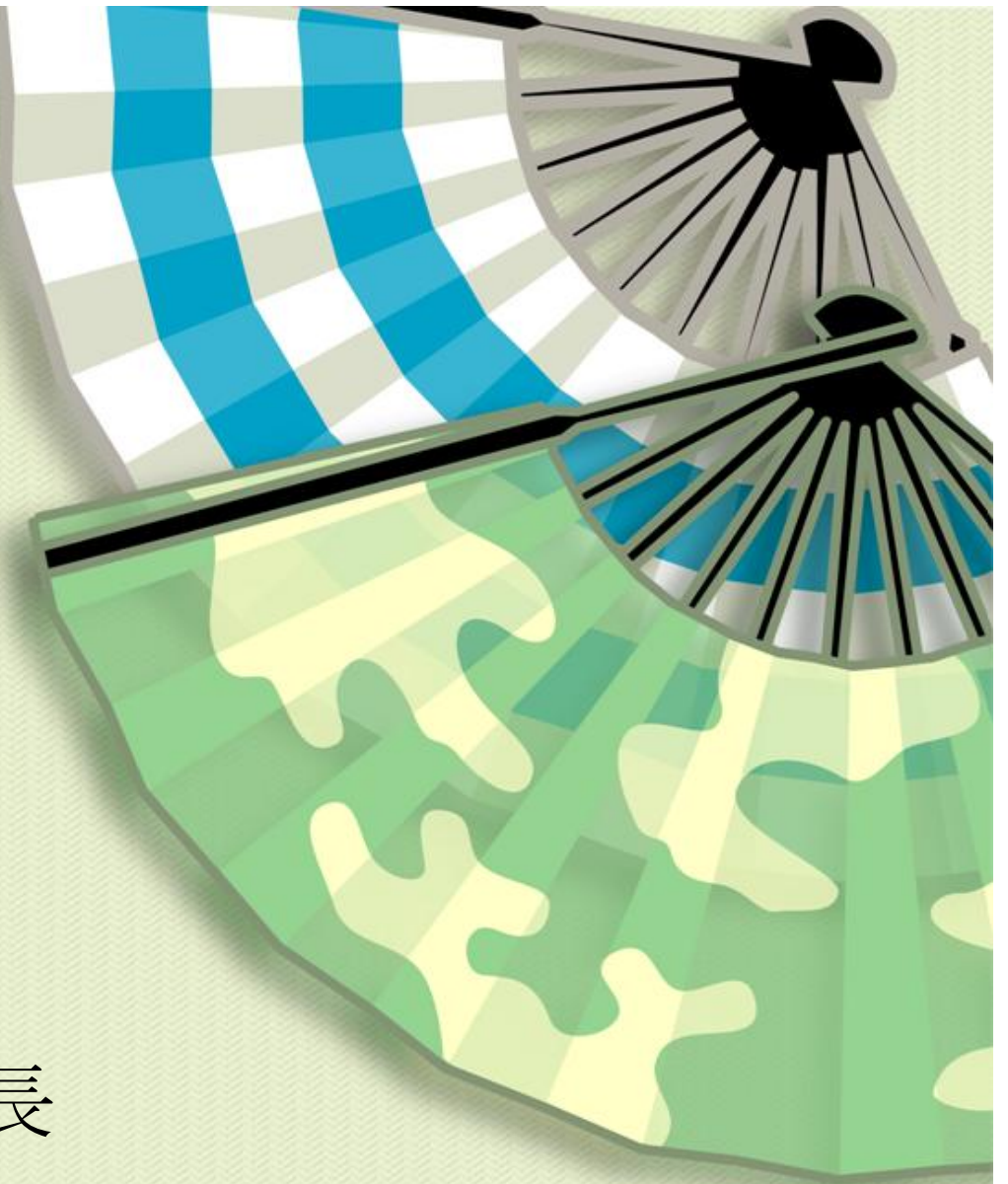


JANOG28 Meeting 閉会宣言

2011年7月15日

JANOG28 共同実行委員長
西塚 要



Janog28 Key Features

- ♣過去最大規模の参加者数
- ♣3つの方式のIPv6 NWの提供
 - Native方式 / Tunnel方式 / Fall-back網
- ♣DNSSEC署名検証を行うキャッシュDNSサーバの提供
- ♣BoFの開催
- ♣懇親会における業界川柳の募集
- ♣ストリーミング配信の実施
- ♣広報活動におけるソーシャルメディアの活用
(Facebook / twitter)



数字で振り返る Janog28

事前登録	975名	☆過去最大人数
来場者数	747名	☆過去最大人数
	事前登録者	702名
	当日登録者	45名
	(事前登録者数975名の72%)	
懇親会出席	346名	
ストリーム最大同時視聴者数	340名	@「日本のインターネットは本当にロバストだったのか」
Wi-Fi ユニークユーザ数	508名	
BoF参加者数	約170名	
オリエンテーション参加者数	約100名	
プログラム数	17	
発表者数	39名	
プログラム総時間	10時間50分	
川柳投稿数	775件	最優秀作品「この機械 俺の年収 何年分？」
スタッフ人数	31名	
協賛企業・協力企業	46社	
ホスト企業	三井情報株式会社	
次回開催日時	2012/1/19,20	@和歌山/株式会社サイバーリンクス

プログラム Wrap up (1/5)

Day1 AM-①「インターネットの経路あれこれ」

1.経路数増大の問題

- 経路間引きでは、情報の引継ぎが運用者の腕の見せ所。
- 例外的なポリシーを沢山作らないことが重要。

2.異常経路の問題

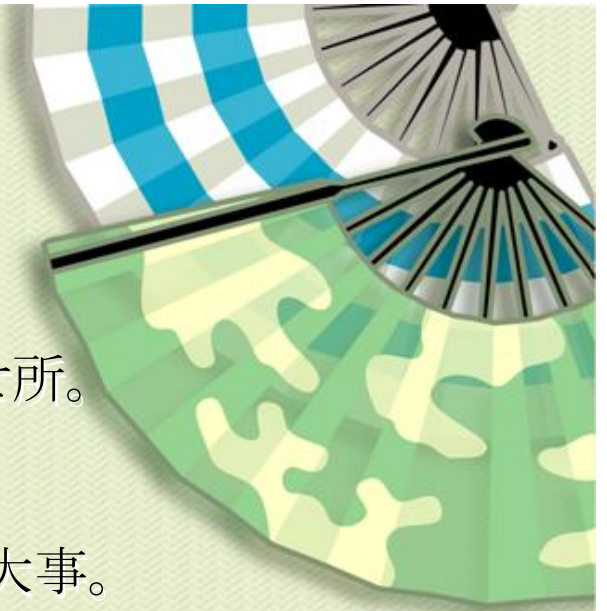
- 日ごろ経路を保存し、解析できるようにしておくことが大事。

Day1 AM-②「DDoS攻撃10年の歴史を振り返る ～中国からの視点より～」

- テスタをつかったDoSなんて方法も。
- 100Gbpsに至る攻撃も。
- Botnetを使ったビジネス構造を解説。
- NWに国境はない。

Day1 AM-③「とある通信工のつぶやき」

- 40G/100GのLayer1の悩ましさ。
 - ケーブル・コネクタの選択。
 - 光レベル測定の難しさ。
- 次の人・次の作業を考えて作業しよう！



プログラム Wrap up (2/5)

Day1 PM-① 震災セッション「ITができること」

- ミッション:被災地で「使える」インターネット環境を構築する。
- 情報の入手/発信の格差が支援格差になった。
- 使えるときに使いたい技術があるとは限らない。
- いろいろなカードを持っておくことが重要。
- 「過去形ではなく、現在進行形」で語られるべき。

Day1 PM-② 震災セッション「日本のインターネットは本当にロバストだったのか」

- すべてがギリギリだった。
- ヒト/モノ/技術の地理的分散の重要性。
- 災害時に特定のトラフィックを優先すべきかは非常に難しい問題。
- 企業を横断したシミュレーションデイの提案がなされた。

Day1 PM-③「JANOG update & オープンマイク」

- Janogの運営に対して議論を行う初の試み。
- JANOGのノウハウを世界に発信すべき。



プログラム Wrap up (3/5)

Day2 AM-①「鍵管理という運用」

- 利用者にも運用者にも優しい鍵管理が重要。
- 組織ごとに大きく異なる鍵管理レベル。
- 組織レベルごとに、鍵管理の指針になるようなものが必要ではないか。

Day2 AM-②「IXと100Gbit Ethernet」

- IXにおける100Gインターオペラビリティの実証。
- 100GEに特徴的な障害があり、切り分けが難しい。
- LAGのバランスも今後の課題。

Day2 PM-①「ネットの震災デマ削除!？」

(オフレコセッションのため、割愛させていただきます)
(Janog28 webで公開されている資料をご参照ください)



プログラム Wrap up (4/5)

Day2 PM-Lightning Talk 1-5

「IHANetアップデート」

- 相互Tunnelを利用したBGP運用ネットワークの紹介
- 世界にIHA-NETだけの障害事例。

「ネットワーク図生成ツールnwdiagの紹介」

- 変更・更新を適切に、手軽に行うツールの紹介

「オペレーションの現場で聞いた残念な話」

- ルータのCPU負荷が原因の障害の切り分け事例
- 相手をあと1歩思いやる運用の重要性

「案4なう。～ネイティブ方式の IPv6インターネットサービスも始まります～」

- 案4提供開始にともなう FAQ.を回答

「World IPv6 Dayの思い出」

- W6D 参加者意識調査の結果報告



プログラム Wrap up (5/5)

Day2 PM-②「データセンターにおける節電対策とサービスの継続について」

- 機器の見直しと空調の最適化による節電アプローチ
- 震災に限らず、節電には取り組むべきである
- 各国の事情にも合わせることが重要。
- DC利用者とDC事業者と、機器メーカーが協力して考えるべき課題である。

Day2 PM-③「私たちに出来る事 -Power Saving-」

- 社会全体で電力をコントロールする仕組みが必要
- オペレータも社会全体の電力へのアプローチについて考えるきっかけに。

Day2 PM-④「World IPv6 Dayを総括してみる」

- 多くの環境で問題点を抽出できた。
- しかし、運用のミスも目立った。運用技術の向上が大事である。
- **World IPv6 Week が2月初旬に予定されている。**
- 皆で使って皆で叩いて皆でよくしていこう😊



JANOG28 閉会宣言

🍃Janog メンバーの皆様

🍃スタッフの皆様

🍃ホスト企業 三井情報株式会社様

🍃協賛・協力各社様

素晴らしいミーティングをありがとうございました。

🍃夢の続きは、次のJanogへ…。

